

3M™ アテスト™ 短時間判定用生物学的モニタリングシステム ＜過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌用＞＜過酸化水素ガス低温滅菌用＞

使用手順書

対象製品：
3M™ アテスト™ 短時間判定用生物学的インジケータ1295
3M™ アテスト™ オートリーダー 490H



培養前の手順

1 BIをパッケージより取り出してください

保管の際はBIをパッケージに戻し、ジッパーをしっかりと閉じてください。



2 BIの確認

滅菌器に入れる前に、BIのガラスアンブルに破損がないこと、プロセスインジケータが青色であることをご確認ください。



3 滅菌パウチへの挿入

BIと化学的インジケータカードを過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌専用の滅菌パウチに挿入し、シールしてください。



4 BIの配置

BIを挿入した滅菌パウチの**白色面を上にして**、滅菌器内の適切な場所に配置してください。配置場所については滅菌器製造業者の推奨に従ってください。



5 BIの取り出し

滅菌サイクルの終了後、滅菌器からBIを取り出してください。その際にBIのガラスアンブルに破損がないこと、プロセスインジケータがピンクに変色していることをご確認ください。



6 滅菌工程の記録

BIのラベル部分に日付、滅菌器番号、滅菌工程番号などの情報を書きこんでください。



適切な配置

不適切な配置



培養の手順

1 クラッシュ

ハンドクラッシャーにBIを設置し、最後までしっかりと握りこみ、ガラスアンブルをクラッシュしてください。



2 振る

BIを取り出して、ラベル部分を持って数回振ってください。



3 目視確認

紫色の培養液がバイアルの底まで達していることを目視確認してください。達していない場合は、再度数回振ってください。



注意：本製品は、滅菌工程の終了後1時間以内にガラスアンブルをクラッシュし、培養を開始してください。

4 培養開始

BIを培養ウェルに差し込んでください。「***」→「**」→「*」と表示された後、所定の判定時間が表示されていることを確認してください。



5 培養

培養中はディスプレイに残りの判定時間が示されます。ディスプレイに判定結果(陽性:「+」、陰性:「-」)が表示されるまでは、BIを取り出さずに培養を続けてください。



結果判定と記録



コントロール用BI

BIを使用する日には必ず1本、未滅菌のBIをコントロール(陽性対象)として培養し、陽性を示すことをご確認ください。コントロール用BIは、滅菌工程で使用するBIと同じロットのものをご使用ください。



結果判定

ディスプレイに表示される判定結果を確認してください。陰性は「-」、陽性は「+」で表示されます。所定の判定時間が経過した後陰性を示した場合は、その滅菌工程が適切に実施されたことを示します。陽性結果を示した場合は、その滅菌工程に不具合があったことを示します。

記録

BIの判定結果とそのロット番号を記録してください。オートリーダーには、PCやモバイル携帯端末を介して結果を遠隔で確認することができる機能が備わっており、結果の記録にお役立ていただけます。



BIの陽性判定が示された場合に、同じBIを別のウェルに差し替えて再度培養を行うことは、オートリーダーの判定原理上できません。



ブザーアラームオフボタン

トラブルシューティング

LCDディスプレイパネルは、バックライトが点滅し、警報音が鳴り（警報が有効になっている場合）、該当する培養ウェルの下にコーション [C] またはエラーコード [E] を表示します。警報音とバックライト点滅は、ブザーアラームオフ (Buzzer Alarm Off) ボタンを押すことで、消すことができます。警報音を無効にしてもLCDディスプレイのバックライト点滅が無効になることはありません。

コーションコード一覧

解決法	コーションコード一覧
3M™ アテスト™ オートリーダー 490Hの電源プラグを入れた後、30分間のウォームアップ時間を取ってください。（注：BIの判定は、培養ブロックが60°C±2°Cになるまで無効です）。	C1 装置ウォームアップコーション 培養ブロックは設定温度に達していません。
BIを適切なウェルに10秒以内に戻して、収集データを喪失しないようにしてください。	C2 BIが培養ウェルから取り出されたコーション BIが、培養が完了する前に取り出されました。
アテスト™ オートリーダーの設置場所を移動して、直射日光、蛍光灯の光の影響を取り除いてください。	C4 環境光コーション

エラーコード一覧

解決法	エラーコード一覧
電源を一旦切って入れ直し、エラーをクリアします。 エラーがクリアされない場合、弊社に修理または交換を依頼してください。	E1 温度コントロールエラー このエラーは、システムがインキュベーターブロックの温度を管理 (60°C±2°C) できなくなると発生します。
電源を一旦切って入れ直し、エラーをクリアします。 エラーがクリアされない場合、修理または交換を弊社に依頼してください。	E3 メモリーエラー アテスト™ オートリーダーは、メモリーにデータを保存／メモリーからデータを読みだすことができません。
修理または交換を弊社に依頼してください。	E7 コミュニケーションエラー 内部コミュニケーションが故障した場合、このエラーが発生します。
電源を一旦切って入れ直し、エラーをクリアします。 エラーがクリアされない場合、修理または交換を弊社に依頼してください。 エラーの発生したウェルは使用しないでください。	E8 LEDエラー このエラーは、特定のウェルで、システムがUV LEDまたは光検知サーキットが作動していないことを検知した場合に発生します。
BIを取り外し、キャップが閉まっている、ガラス製アンブルが割られ、培養液が培養チャンバー内にしみ込んでいることを確認します。必要であれば、BIの培養手順を繰り返し、BIをウェルに戻してください。	E11 BIの不適切な挿入エラー 培養の残存時間が表示されず、蛍光判定が行われません。
アテスト™ オートリーダーへの電源接続を確認します。	E12 電源制御エラー アテスト™ オートリーダーへの電源供給が長期間オフであったために、エラーの発生したBIについて正確な結果を得られません。
エラーの発生したウェルのBIはpH指示薬の変色（オプション）で判定をしてください。アテスト™ オートリーダーを、環境光を軽減できる場所に移動し、今後このエラーが発生しないようにしてください。	E14 環境光エラー（使用中のウェル） 蛍光判定結果が表示されません。

[BIの適応機種]

- ステラッド® 100NX / NX / 100S (ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)
- Amsco® V-PRO® maX / V-PRO® 1 Plus / V-PRO® 1 (サクラ精機株式会社)
- スピード低温滅菌システム ES-700 / ES-700 i / ES-1400 (キヤノンライフケアソリューションズ株式会社)

定期点検のご案内

オートリーダーの機能維持のため、年1回の定期点検を推奨しております。

点検内容：温度制御および光学判定機能の確認と較正
料 金：25,000円

部品交換を伴う修理が必要な場合は、別途部品代が必要になります。

ご購入後の1年点検は無償で実施いたします。

3M, Attest, アテストは、3M社の商標です。
ステラッドは、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の商標です。
Amsco, V-PROは、Steris社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

医療用製品事業部

<http://go.3M.com/medical-jp/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2019. All Rights Reserved.
HPM-720-BA(0219)

2019年2月発行

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-011-321**

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます